

# ホホバ 頒布会便り



発行  
毎月一回  
(株)アイリス

七月となり、強い夏の日差しや紫外線、冷房による乾燥や急激な温度差など、夏のお肌はストレスにさらされています。お肌に優しい洗顔で、健やかな素肌を保ちましょう。

## 夏のお肌は 洗顔で決まる!?

強い日差しや、冷房の効いた室内と外気の温度差など、これからの季節はお肌にストレスとなる刺激が増える季節。

肌ストレスが増えてくると、お肌が過敏になりますから、少しの刺激でも肌トラブルの原因になってしまいます。



汗をかいた後の塩分や、日焼け止め等をしっかりと洗い流して、すっきりと健やかな素肌をキープする事がとても重要です。

## 汗の塩分で 肌荒れ・乾燥が

この季節は、汗ばむ事も多くなり、気が付くと、お肌がベタベタしたり、涼しい室内に入って汗が引いた後に

お肌がザラついたりする事がありません。

こんな時は、お肌に残った塩分が要注意。

塩分が刺激となつて、お肌表面から水分を奪つてしまいます。さらに、汗を拭く時などの摩擦によつてお肌を傷つけ、かぶれや湿疹の原因にも。

汗を拭く時はこすらず、肌を押さえるようにして、なるべくお肌に触れず、刺激しない事が重要となります。

## 刺激せずに しっかり落とす

肌ストレスを洗い落とすための洗顔で、お肌にダメージを与えてしまつては元も子ありません。

お肌に負担をかけない、正しい洗顔法でお肌を守りましょう。

# 汗ばむ季節の

## お肌を守る洗顔法！

汗ばんでお肌のベタつく季節。紫外線対策や洗顔回数が増加等で刺激が増え、この時季はお肌のストレスも急増してしまいます。お肌に負担の少ない正しい洗顔をしましょう。

### 間違い洗顔でお肌にダメージ

正しい洗顔は、お肌のお手入れの  
第一歩となる基本です。

間違った洗顔を続けていると、少  
しずつお肌を刺激し、肌ストレスが  
蓄積してしまいます。

×お肌いきなり泡を乗せる

洗顔の際、十分にすすいでお肌  
が水分を含んでから泡を乗せない  
と、汚れを十分に吸着できず、お  
肌にも刺激を与えてしまいます。↓

×お肌を直接こする

洗顔の時に、つい指で直接お肌  
をこすってしまう、という方は要  
注意。お肌に刺激を与え、シミや  
乾燥の原因にも。

×熱いお湯・直接シャワー

朝、シャワーを浴びる時に洗顔  
するという方も、肌ダメージが心  
配です。熱いお湯はお肌の乾燥を  
進め、直接お顔にシャワーすると↓

×泡立ち不良

刺激の肌ストレスがシミやたるみ  
の原因に。  
泡立ちが十分でないと、吸着作  
用が充分働かず、洗浄効果が低下  
してしまいます。

×タオルの摩擦

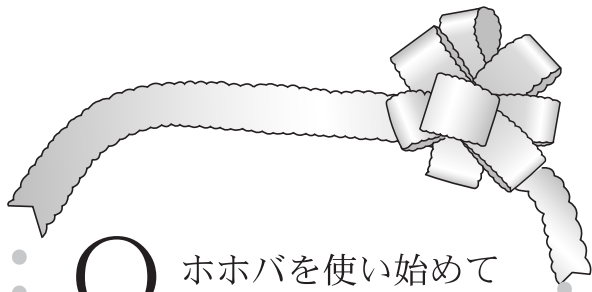
優しく洗顔した後に、タオルで  
お肌を刺激してしまつては台無し  
です。柔らかなタオルで擦らずに。



# お肌に優しい 正しい洗顔法とは

洗顔の目的は、お肌や毛穴の汚れ・老廃物を落とし、油分と水分のバランスのとれた状態にする事、  
いかに負担をかけず、  
肌を刺激せずに

きちんと洗顔  
するか、とい  
う事が重要です。



**Q** ホホバを使い始めて半年経ちます。

乾燥に良いので、冬場は体にも使っていましたが最近  
は主に顔に使っています。

最近、知人から、虫刺されや  
あせもにもホホバを使う、とい  
う話を聞きましたが、大丈夫で  
しょうか？



**A** いつもご愛用ありがとうございます。

ホホバは、お肌のトラブル全般  
にお使いいただけますので、虫  
さされやあせも等はもちろん、  
すり傷や軽い火傷にもご利用  
いただけます。

虫さされやあせも等、かゆみ  
のある場合は、日に何度もこ  
まめに塗りなおす事をおすす  
めします。

あせもにご利用の際は、汗の  
塩分がお肌を刺激しますから、  
お肌を拭いてからご利用くだ  
さい。

①まず手を洗い、ぬるま湯でお顔を念入りにすすいでから、たっぷりの泡をお肌に乗せます。

②指で直接肌をこすらず、泡を動かすように優しく洗顔します。

③すすぎはたっぷりと、こめかみや小鼻のわき、あごの裏など、すすぎ残しのないように。

④しっかりとすすいだ後は、タオルでそっと肌を押さえる様にして拭きましょう。

タオルを上下に動かして肌を拭いていると、刺激でシミ・シワ乾燥等、肌トラブルの原因に。

⑤アロエローションを、手の平全体を使い、お肌に押し込む様にたっぷりつけます。

その後、ホホバを薄くのばして潤いベールを作り、お肌の水分量をキープしましょう。

最後の仕上げは、UVカットで紫外線対策もお忘れなく。